

様式第6号(会派用)

### 政務活動実施報告書

令和 5 年 3 月 31 日

村上市議会議長 様

会派名 高志会

代表者氏名 尾形 修平



当会は、下記のとおり政務活動を終了しましたので報告します。

	経理責任者氏名	小杉 武仁
用 務 名	能代港洋上風力発電等現地視察	
実 施 日 時	令和 4 年 11 月 16 日 (水) 午後 1 時 00 分 ~ 午後 3 時 30 分	
用 務 先	秋田県 (秋田港、能代港)	
参 加 議 員 名	(高志会) 尾形修平、鈴木一之、小杉武仁 (鷺ヶ巣会) 大滝国吉、河村幸雄、菅井晋一 (清流会) 三田敏秋、鈴木好彦 (新政村上) 長谷川孝 (令和新風会) 川村敏晴、高田 晃 (無会派) 渡辺 昌、富樫雅男	
全体参加者数	13 名	
概要及び所見	※記載欄が不足する場合は別葉に記載すること。 別 紙	
備 考		



## 秋田県能代港沖洋上風力発電事業 現地視察報告書

村上市議会 高志会  
会派長 尾形 修平

本市及び胎内市沖が再エネ海域利用法に基づく促進区域として、国から指定されたことにより、それぞれの自治体と漁業関係者や有識者等で構成する法定協議会において、海域の利用や漁業への影響調査等に関する協議も進められてきました。

今後は事業者の公募や選定等に係る手続きが進められることとなりますが、本市の特徴や特性を最大限に活かしつつ、議会としても地域や企業などと連携を図ることで、市民に対する意識の定着や事業の周知にも繋がるものと捉えています。

地域連携においては、発電事業によりもたされる恩恵が地域の活性化や課題の解決に寄与し、持続可能な地域社会の実現に繋がる要素も多く感じられ、雇用促進や地域経済においても効果が期待されます。

そこで、この度は有志議員による政策勉強会として、秋田県能代市の洋上風力発電事業の現地視察を実施いたしました。

能代港湾区域では、洋上風力20基の据え付けが完了しており、試運転を経てから国内初となる大規模商用運転が始まりました。

能代市の港湾区域や沖合に整備される洋上風力発電を観光資源として活用するという構想から、インフラ整備も必要になったことから、経済波及効果も感じとれました。

多業種にわたって地元事業者や周辺地域との連携などの可能性も感じたところですが、能代市沖では今後100基を超える風車が建設される見通しで、能代港の埠頭を埋め立てる拡張工事が行われる予定とのことでした。

現地視察を実施したことで、本市においも観光資源や地元事業者の参画に関しては十分な可能性と魅力があると捉えており、洋上風力発電という大規模なプロジェクトが本市の活性化に繋がり、地域経済に様々な効果が生じる期待をもち、調査研究を重ねながら今後も推進し、議論を深めてまいりたいと存じます。